

テーマ 自社製品（シート型ルーペ）の開発と自社ブランド立ち上げによる新たな販路の開拓

千葉県異業種交流融合協議会 会員企業

松川産業株式会社

本会では、「中小企業新事業活動促進法」に基づく中小企業者の「経営革新」への挑戦、取り組みを支援しています。

このコーナーでは、本会の会員団体の中から、自社の創意と熱意が込められた「経営革新計画」の策定にチャレンジし、千葉県知事から承認された企業事例をご紹介します。

経営革新計画とは？

「経営革新計画」とは、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、中小企業者が作成する、新商品の開発や新たなサービス展開などの取り組みと具体的な数値目標を含んだ3年から5年の「ビジネスプラン」のことです。この計画を千葉県に申請して承認を受けると、政庁系金融機関の低利融資、信用保証の特例、特許関係料金減免等の他、ちば中小企業元気づくり助成事業（市場開拓助成／新商品・新技術・特産品等開発助成）の対象となります。

申請のしやれしやろ？

当社は、昭和46年の設立以来、フィルムパツ

ケージをメインに、バインダー、文具等の企画・製造・販売を手掛けてきています。

松戸市の本社及び工場を本拠としつつ、東京都千代田区に東京営業所を、中国での事業拠点として、上海松川貿易有限公司を置いています。

リーマンショックを契機とした世界同時不況以降、寿堂紙製品工業株式会社、株式会社ムトウユニパツク、ナカバヤシ株式会社など、文具メーカーをはじめとする主要取引先からの受注量の減少と受注単価の引き下げが顕著で、ここ数年は売上高が減少傾向にあります。現在の売上のうち約8割を文具メーカー等からの下請代金（フィルムパツケージ、文具製造等）が占めていることから、当社としては、従来の下請体質からの脱却を図り収益力を強化していきたいと考えています。

そこで、これまでの文具類の企画・製造で培ったノウハウを活かした新たな取り組みとして、高齢社会を背景に手軽な拡大鏡としてニーズの高い「シート型ルーペ」を自社製品として開発するとともに、自社ブランドとして立ち上げ、新たな販路の開拓を進めていくことを計画しました。

テーマ及び内容は？

1. テーマ
▽自社製品（シート型ルーペ）の開発と自社ブランド立ち上げによる新たな販路の開拓
2. 計画期間
▽平成25年4月～平成28年3月（3年計画）
3. 内容

▽従来の下請体質から脱却して、収益力を強化していくため、シニアの手軽な拡大鏡としてニーズの高い「シート型ルーペ」を自社製品として開発するとともに、自社ブランドとして立ち上げ、新たな販路の開拓を進めていくことを計画しました。

新たな取り組みの特徴は？

シート型ルーペには、文具店などで販売されている従来品があります。この従来品は、アクリル製で2ミリほどの厚みがあります。このため、

- ①シニアにとってはやや重い。
- ②携帯にやや不便（厚みがあるため本や手

帳に挟みにくい)。

③材料であるアクリルが白みを帯びている(透明度に劣る)ため、文字がクリアに見える。

④拡大倍率が2倍程度にとどまるため、文字の大きさによっては、ルーペを通しても判読できる大きさにまで拡大できないことがある。

といった使い勝手の面での課題があります。そこで当社は、従来品の課題を解消した使い勝手の良いシート型ルーペの開発に取り組みむこととしました。レンズにある同心円状の溝の数と深さを増すことで、より薄く、より透明度の高いシート型ルーペを製造することができま

当社は、上海松川貿易有限公司を通して当社と協力関係にある中国の協力工場と共同で、24年6月ごろから開発を進めてきました。その結果、材料を従来のアクリルからポリ塩化ビニルに変更するとともに、プレス加工工程について、

- ①原料を柔軟にするためのヒート熟を約10度高める
 - ②原料を柔軟にするためのプレス時間を15%長くする
 - ③レンズ型に成形するためのプレス圧を12%~15%強める
- という工夫をすることで新製品の實用化に成功しました。
- 従来品と比べて、拡大倍率が高く(2倍↓3倍以上)、非常に薄く(2ミリ↓0.5ミリ)、

かつ、透明度が格段と向上した製品となっております。

この製品をロフト、ヨドバシカメラに自社製品として持ち込んだところ、バイヤーから高い評価を得ることができました。

今後の事業展開は？

今後は、中国の協力工場で製造を行い、当社が検品とパッケージ、ノベルティ品等としての名入れ等を行う体制で市場に供給していきます。

協力工場における、小ロットでも対応できる生産体制の整備(他社は少なくとも8千枚でワンロットです。当社は1千枚から対応します。)と品質管理強化のための製造マニュアルの整備を支援するほか、当社のブランドとして立ち上げた「TAURUS(トールラス)」の認知度を高めるため、展示会への出展や当社ウェブサイトの改良による情報発信の強化を進めます。

さらに、自社ブランド品のラインナップを充実させていくための新製品の企画・開発を順次進めていく予定です。

社長さんの一言

経営革新計画の承認を取得する過程において、商品開発を行ううえで、より良い商品を世に送り出していくために、理詰めで考えていくことができるようになりました。

今後は、さらに顧客ニーズに即した商品を

世に送り出していきたくと考えております。



(弊社商品「News Scope」)

中央会から

◎新たな「顧客の創造」に向け、経営革新支援制度を是非ご活用ください。ご相談は、本会経営支援部へ。(0433063280)

企業プロフィール

団体名：千葉県異業種交流融合化協議会
企業名：松川産業株式会社
代表者：松川哲也
所在地：松戸市竹ヶ花西町306-13
電話番号：047-365-4371
資本金：16,000千円
従業員数：16名
業種：他に分類されない製造業
E-mail：—
URL：http://www.matsukawa.com/
承認年月日：平成25年3月26日
支援機関：千葉県中小企業団体中央会